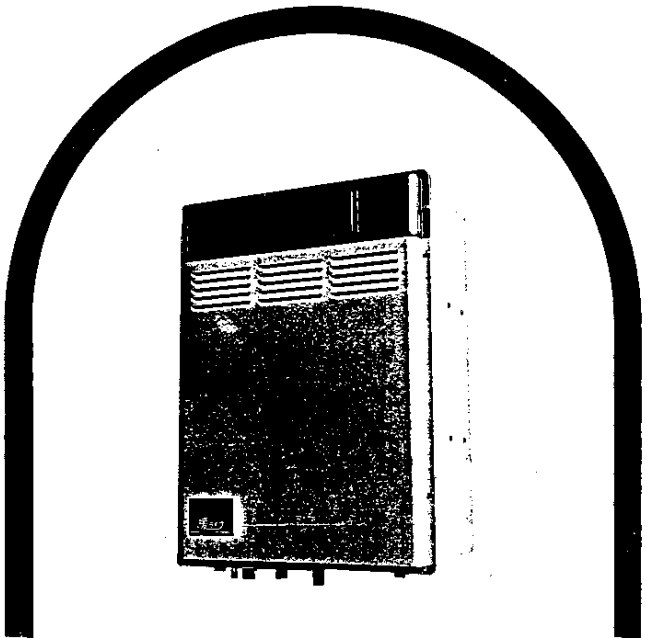
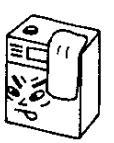
ガス温水暖房システム暖ライフ
取扱説明書 品名 44-758型

形式名 GS-R121B



器具をお使いになるときのご注意

使用中は
熱くなります。
手をふれないで
ください。



器具に物をのせたり、
腰をかけたり
しないでください。

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しい物を

暖房水の補給周期は
1ヶ月に1回程度
必要です。

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5－1	☎大阪 06 (202)2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2－9－41	☎大阪 06 (652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3－6－35	☎大阪 06 (301)1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2－2－19	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里町39－6	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4－11	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2－3－17	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16－17	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5－13－10	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸通御池角	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2－4－1	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1－1－1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4－8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29－1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6－57	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680－1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12－11	☎彦根 0749(22)3131
長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3－4	☎長浜 0749(62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

034N－15600

ごあいさつ

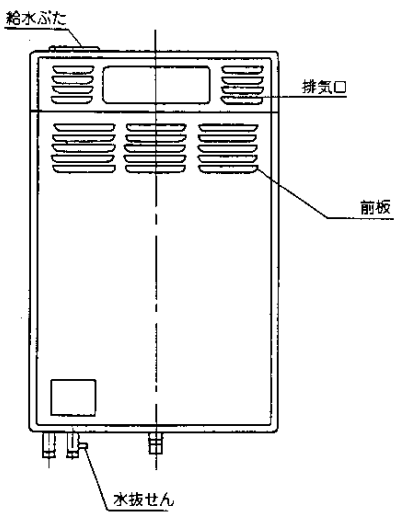
このたびは、大阪ガスのガス温水暖房システム用暖房熱源機「暖ライフ」をお買い求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してご利用ください。

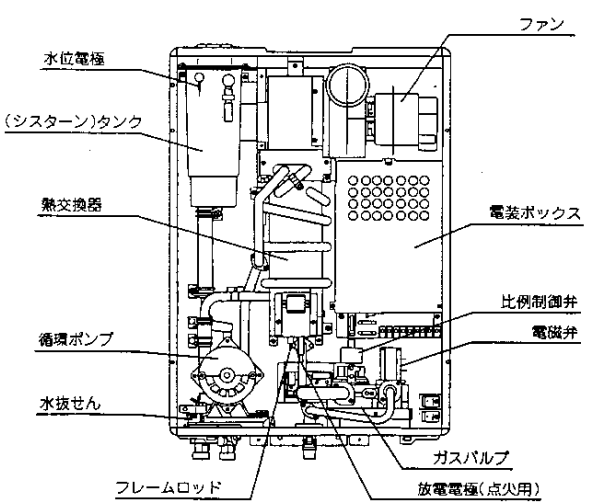
もくじ

ページ

- ●各部の名称……1
- ●暖ライフシステムの概要……2
- ●特に注意していただきたいこと……3
- ●設置について……6
- ●使用手順……7
- ●凍結防止について……10
- ●使用時のご注意……11
- ●安全装置が作動したときの処置方法……12
- ●日常の点検・手入れ……13
- ●故障・異常の見分け方と処置方法……15
- ●長期間使用しない場合……16
- ●アフターサービスのお申し込み……17
- ●外形寸法と仕様一覧表……18

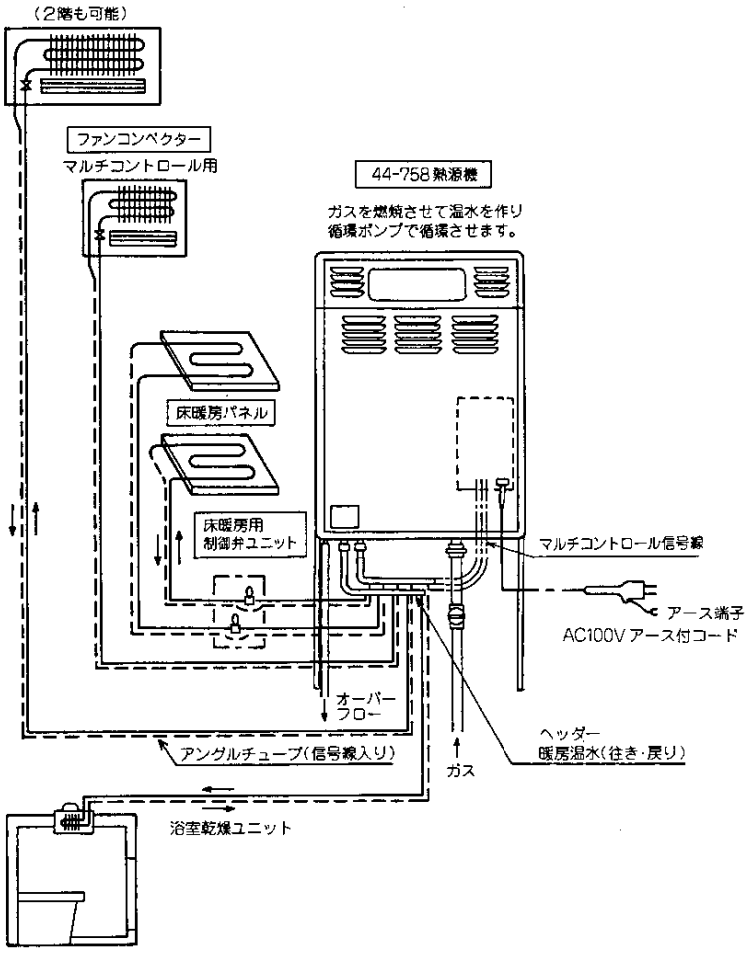
各部の名称





暖ライフシステムの概要

マルチコントロールシステムの場合

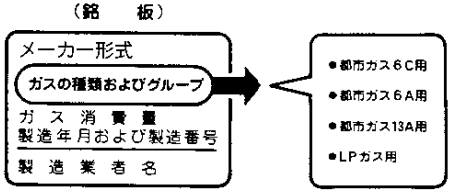


特に注意していただきたいこと①

安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
熱源機ケーシングの前面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



●ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と熱源機銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

●電源の電圧を確かめてください。
この熱源機はAC100V用です。お宅の電源の電圧が一致しているか確かめてください。

用途についてのご注意

●この熱源機は暖房用熱源機ですから、給湯に使用しないでください。

市販の補助用具使用についてのご注意

この熱源機用附属品、別売部品(大阪ガス指定)以外の物は使用しないでください。

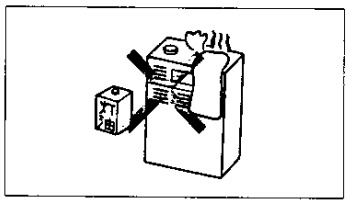
特に注意していただきたいこと②

使用場所についてのご注意

●この熱源機は屋外専用ですから、屋内には絶対に設置しないでください。

●熱源機の近くに燃えやすい物は絶対に置かないでください。

●熱源機のまわりに物を置かないでください。

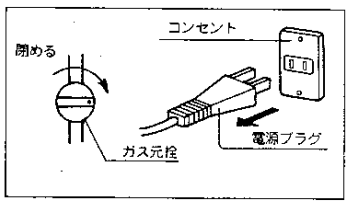


使用上のご注意

ガス漏れ予防

●使用後は室内機の運転ランプが消えていることを確かめて下さい。
（別売品のリモートコントローラを取付けている場合はリモートコントローラの燃焼ランプが消えていることを確かめてください。）

●長期間ご使用にならない場合は、ガス元栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜いてください。



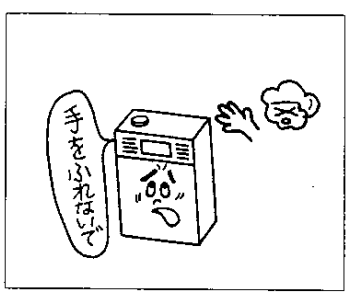
火 災 予 防

●熱源機の上やそばに燃えやすい物(紙、プラスチック、油類など)を絶対に置いたり、近づけたりしないようにしてください。

●熱源機には物をのせたり、たてかけたりしないでください。

やけどのご注意

●ご使用中および使用直後は、熱源機とくに、排気口部ととその周辺は熱くなっていますので、手をふれないでください。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。



特に注意していただきたいこと③

ガス事故防止

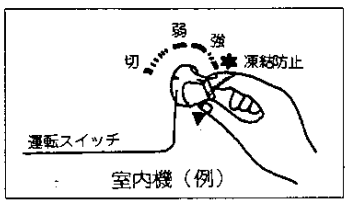
●万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、室内機の運転スイッチの「強、弱」と「切」のくり返しや、電源プラグの抜きさしなどをしないで、ガス元栓を閉め、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

凍結についてのご注意

●冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため熱源機、および配管内の水が凍って、熱源機または配管を破損することがあります。
詳しくは、10ページの「凍結防止について」をお読みください。

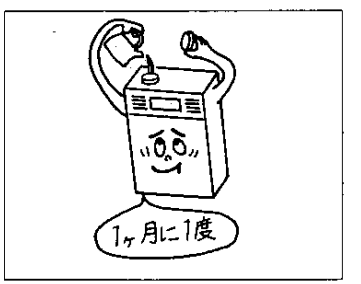
異常時の処置

●万一異常燃焼を起こしたときや、緊急の場合、あわてず室内機の運転スイッチを「切」にしてください。



暖房水の補給間隔について

●暖房水の補給間隔は暖房の使用時間により異なりますが、1ヶ月に1回程度です。もし、1週間以内に補給が必要になったり、急に補給間隔が短くなった場合には、水漏れの恐れがあります。熱源機まわり、湿水配管接続部分、湿水コンセントまわり、室内機まわりを点検のうえ、もし異常がありましたら、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。

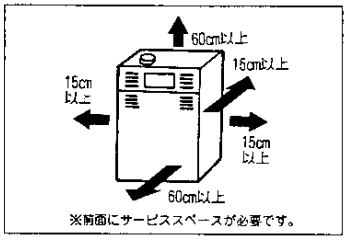


日常の点検、手入れ

●熱源機を安全・快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。
万一具合が悪くなった場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。

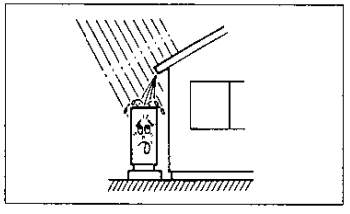
設置について

熱源機の設置について



※前面にサービススペースが必要です。

●火災予防上、また保守・アフターサービス上、建築構造物と熱源機の間に空間が必要です。右図の設置基準と照合してください。
前面の60cm以上は保守、アフターサービス上必要です。
〔注〕 熱源機の底面に物を置かないでください。

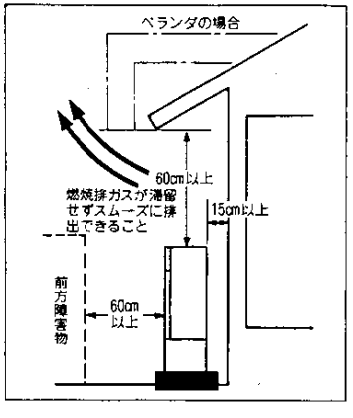


●熱源機はコンクリートブロックなどの上にしっかりと固定してください。
●屋根の雨だれが直接かかる場所、および水たまりになるような場所には設置しないでください。
●冬期に積雪の多い地域では熱源機が雪にうまらないように、雪よけのひさしなどを取付けてください。

●アースについて
アース配線は万一、電気の絶縁が悪くなった場合に起こる感電を防止するものですから、必ず接続してください。

●給排気について
風通しのよい屋外で、燃焼排ガスの滞留しない場所に設置してください。
燃焼排ガスが家の中に入らないよう、窓からはなして設置してください。

（詳しくは工事説明書をお読みください。）



室内機の設置について

●室内機の前面に物を置いたり、衣類がかかっていたりしますと暖房機能が落ちますので取除いてください。

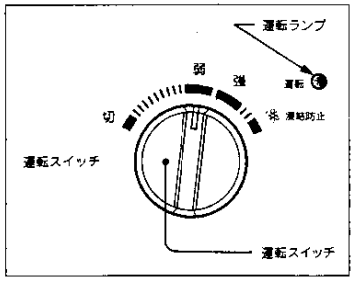
使用手順①

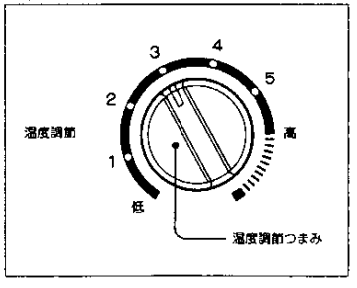
点火前の準備と確認

●熱源機周辺に紙、プラスチック、油類など燃えやすい物がないことを確認してください。
●熱源機の電源プラグをAC100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。
●ガス元栓を全開にしてください。
●ご使用になる室内機から直接操作できます。
●別売のリモートコントローラ(49-719)を設置出来ます。別売のリモートコントローラではセーブ運転が可能となります。（詳しくは別売のリモートコントローラの取扱い説明書をお読みください。）

室内機によるマルチコントロールの方法

操作部のはたらき





●運転スイッチ
- 弱運転
静かにゆっくりとお部屋が暖まります。
- 強運転
暖房能力は最大となります。
早く暖めたいときなどにご使用ください。
- 切
温水の循環とファンの両方が止まります。急に「切」に合わせると「コトン」と音のすることがありますが異常ではありません。

※凍結防止
- 冬期外気温が0℃以下になった場合に、熱源機及び温水回路内の水の凍結を防止します。

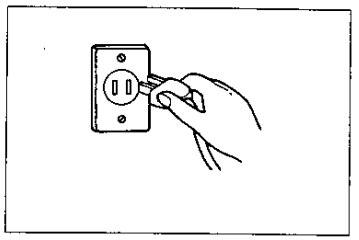
●運転ランプ
- 熱源機の燃焼にあわせて点滅します。

●温度調節つまみ
- 温度調節つまみを操作するとつまみの位置に応じて自動的に室内機を運転、停止し、お部屋をお好みの温度に調節します。

〈ご注意〉
室内機にはいろいろな種類があり、上記の操作方法と異なるものがありますので各室内機の取扱説明書をよくお読みになってご使用ください。

使用手順②

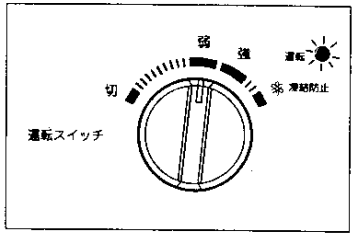
運転手順



●はじめに

①室内機の電源プラグをAC100Vのコンセントにさしこんでください。

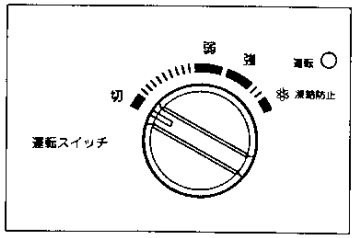
②熱源機の電源プラグがコンセントにさしこまれているか、ガス元栓が開いているか確認してください。



●運転(点火)

①「運転スイッチ」を「弱」あるいは「強」に合わせてください。

運転ランプがしばらくして点灯します。約1分たっても運転ランプが消えている場合は運転スイッチを「切」にしてからもう1度「弱」あるいは「強」にしてください。



●停止(消火)

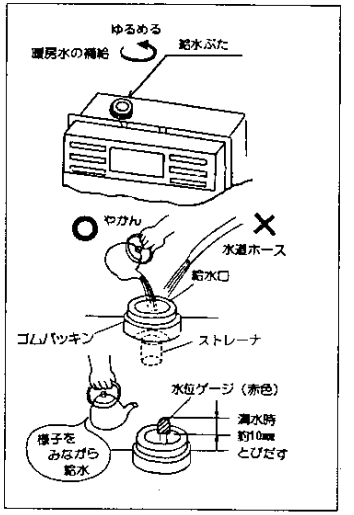
運転スイッチを「切」にしてください。

長時間使用しない場合

●ガス元栓を閉めてください。

使用手順③

暖房水の補給



●暖房水は蒸発などにより減少します。
水が減ると(シスターン)タンク内の水位スイッチが切れ、暖房が停止します。

●暖房運転の途中で火が消えた場合、または点火操作を行なっても火がつかない場合、下記の手順で熱源機の(シスターン)タンクの水量を確認し、減っている場合は補給してください。

(シスターン)タンク内に補給する水は必ず水道水を使用してください。地下水などを使用すると熱源機が損傷する原因となります。

補給作業手順

(1)熱源機を停止してください。
(2)給水ぶたを手で時計と逆の方向に回し取外してください。
(3)給水口から、満水表示の水位ゲージ(赤色)がとびだすまで、水道水をやかんで、ゆっくり補給してください。この時の補給水は約2.1ℓ です。
(4)逆の手順でもとの状態にもどしてください。

〔ご注意〕

●必ずゴムパッキンを付けたままで給水してください。
本体内に水が入らないようにしています。
●水道ホース等で急激に補給することはおやめください。
●給水中は水位ゲージは浮き上がりません。
水位の様子をみながら給水してください。
●補給は1ヶ月1回程度ですが暖房の使用時間により異なります。
●水の減りかたが速かったり、急に速くなった場合は水漏れしている可能性があります。配管をよくお調べのうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。

停電の場合

運転中に停電した場合、室内機、熱源機ともに停止し、ガスの通路もすべてしゃ断されます。
再通電後は、自動的に運転を開始します。
長時間停電したときは念のため、ガス元栓を閉めて、室内機の運転スイッチを「切」にしてください。
再使用する場合は7～8ページに従って操作してください。

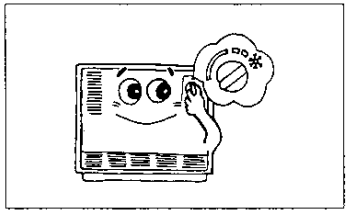
凍結防止について

（暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。）

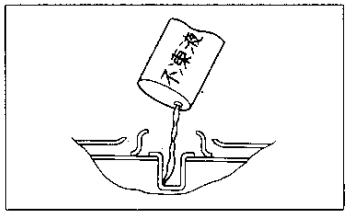
- 凍結すると熱源機や配管が破損して、水漏れを起こしたり、熱源機が異常（空だきなど）を起こす危険があります。
- 凍結による修理費用は有料です。

凍結防止方法

- 冬期外気温が0℃以下になりますと熱源機や温水回路内の水が凍結し、破損することがあります。
  配管や熱源機が破損しますと、水漏れなどで多大な被害を引き起こしますので、必ず不凍液を注入してください。
暖房水に不凍液を使用することで凍結が防止できます。
  各部屋のすべての室内機（ファンコンベクター）の操作つまみを「※」にしてください。
（詳細については、室内機（ファンコンベクター）の「取扱説明書」に従ってください。）

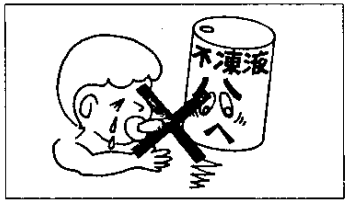


〔注〕分電盤のブレーカは「切」にしないでください。気温が低いときは、自動的にポンプが回り凍結を防止します。



●不凍液について

- 不凍液は大阪ガス指定の物をご使用ください。指定以外の不凍液は熱源機に悪影響を与える場合がありますのでご使用にならないでください。
- 不凍液濃度は地域、設置場所、気温などにより異なります。めやすとしては室内機1台の場合は2缶です。（1缶は1ℓです。）
- 適正濃度を保つため1年に一度は、暖房水全体を入れかえ、不凍液を新たに注入する必要があります。不明な点はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。



●不凍液の取扱い

- 幼児の手の届くところに置かないでください。
- 万一、飲み込んだ場合には吐かせ、また皮膚についたり、目に入った場合は、すぐ水洗いするなどの応急処置を行なって直ちに医師に相談してください。
- 他の不凍液と絶対に併用しないでください。
- 一度開けた缶は残さず使いきってください。

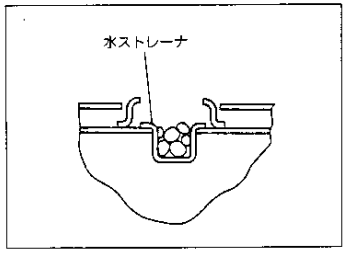
凍結したとき

- 凍結した場合、ガス元栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜いてください。凍結したまま使われますと熱源機に異常が生じる場合があります。
- 凍結が解けた後、水漏れがないのをご確認のうえご使用ください。
- 熱源機や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

使用時のご注意

シーズン初めにお使いになるとき

水ストレーナが目づまりしていませんか



- 水ストレーナが目づまりしていますと暖房水の補給が困難になりますのでストレーナの掃除をしてください。

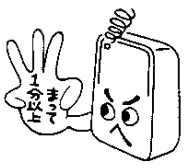
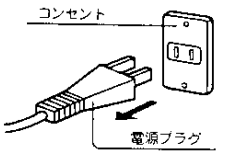
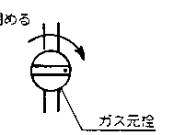
暖房水を補給してください

- シーズン初めは、（シスターン）タンク内の水量が少なくなっていますので熱源機を停止させて、9ページに従って暖房水を補給して下さい。
  1回の補給では不十分な場合があります。熱源機を約5分間運転させた後、9ページに従って暖房水を補給して下さい。

この作業は、ガス元栓を「開」にして行なってください。

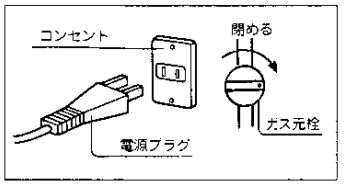
安全装置が作動したときの処置方法

安全装置が作動したときは、次の方法により処置してください。

安全装置	作動内容	処置方法
消火安全装置	万一使用中にメーンバーナの炎が消えますと安全装置が働き、熱源機の運転が停止します。	再点火するときは室内機の運転スイッチを「切」にしてから約1分後に運転スイッチを「弱または強」にしてください。 
内胴過熱防止装置（温度ヒューズ）	万一メーンバーナの炎が消えずに、温水が異常に上昇したときはガスを自動的にしゃ断します。	再使用できませんので電源プラグをコンセントから抜き、室内機の運転スイッチを「切」にし、ガス元栓も閉めて、販売店もよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。 1.室内機の運転スイッチを「切」にする。 2.電源プラグをコンセントから抜く。 
器体過熱防止装置（温度ヒューズ）	ご使用中熱源機に異常が生じ、熱源機内の温度が異常に高くなったとき、火災防止のために器体過熱防止装置が働きガスをしゃ断して消火します。	3.ガス元栓を閉める。 
過電流防止装置（電流ヒューズ）	ご使用中なんらかの原因で過電流が流れ、電流ヒューズが切れたときは自動的にガスが止まります。	4.ガスサービスショップまたはもよりの大阪ガス支社へ連絡。
空だき安全装置（水位スイッチ）	（シスターン）タンク内の水が不足して一定の水位以下になりますと熱源機の運転が停止します。	給水ぶたを取外して、給水口から満水表示ゲージ（赤色）がとびだすまで、水道水をやかんで補給してください。

日常の点検・手入れ①

点検・手入れの際のご注意



- 点検・手入れについては、15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」にもとづいて行ない、もし異常を見つけた場合は、販売店もよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元栓を閉め、電源プラグを抜き、熱源機が冷えてから手入れをしてください。
- 安全装置およびガス通路部分は絶対に分解しないでください。

点　検

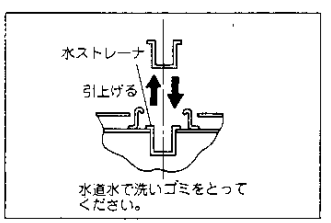
- 熱源機および配管よりガス漏れ、水漏れはありませんか。
  （ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。）
- 運転中に、熱源機から異状音が聞こえませんか。
- 熱源機の外観に異常は見られませんか。
- 熱源機のまわりに燃えやすい物はありませんか。

手入れ

とき

●水ストレーナーの掃除

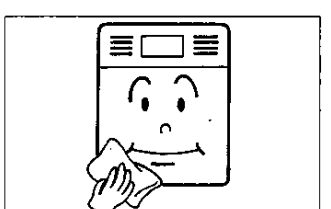
暖房水の補給のとき、水ストレーナにゴミが付着していますと補給が困難になります。
水ストレーナを引上げて、水道水で洗いゴミをとってください。



どき

●熱源機の前板と本体ケーシングのお手入れ

前板と本体ケーシングは乾いた布でよくふいてください。
汚れのとれないときは、台所用中性洗剤をつけた布でふいた後乾いた布で十分水気をふきとってください。



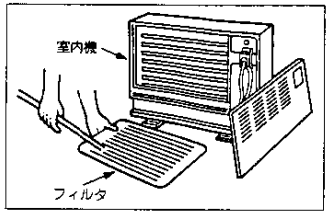
日常の点検・手入れ②

ときどき

●**室内機のフィルタ掃除**

●室内機のフィルタを掃除機などで掃除してください。

●フィルタにゴミがつきますと暖房能力が低下します。



故障・異常の見分け方と処置方法①

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

●故障・異常の見分け方と処置について

現象／原因	室内機の運転ランプが点灯しない	使用中炎が消えて冷風がでる	暖房が快適でない	補給回数が多い熱源機の(シスターン)タンクへの	暖房中に異状音がする	ガスの臭いがする	処置方法	参照ページ	お客様	大阪ガス
電源プラグがコンセントから外れている	○						電源プラグをコンセントに確実にさしこむ	7	○	
ガス元栓が閉まっている	○						ガス元栓を確実に開ける	7	○	
銘板表示のガスと供給ガスが異なる	○	○	○		○		ガス種が異なる場合は、ガス会社に依頼する	3		○
(シスターン)タンク内の水が減っている	○	○					水ストレーナ内に水位ゲージが見えるまで補給する	9	○	
熱源機給排気部の周辺に障害物がある	○	○					空気の流れが良くなるように、障害物を取り除く	6	○	○
ガス配管中の空気が抜けていない	○				○		点火操作をくり返す	8	○	
室内機(ファンコンベクター)の運転スイッチの位置が適当でない			○				各室内機の取扱い説明書に従って下さい		○	
室内機(ファンコンベクター)の湿度調節つまみの位置が適当でない			○						○	
室内機のフィルタが目づまりしている			○						○	
室内機の直前に障害物がある			○						○	
暖房配管中に空気が混入している			○		○		(シスターン)タンク内の水位を確認し、点火操作をくり返す	8	○	
暖房配管の接続部水漏れ				○			水漏れ箇所を調べ、修理を依頼する	5	○	○
燃焼用ファンが回転しない	○						点検を依頼する		○	○
ガス配管接続部のゆるみ						○	ガス元栓を閉めて、大阪ガスへ連絡する	5		○

この表に従って点検しても、なおらない場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

次のような場合は故障ではありません。

状　態	説　明
室内機の運転スイッチを操作しても温風が出てこない。	冷風防止サーモの働きにより、温水の温度が上昇してから、温風が出はじめます。配管により異なりますが約3～5分かかります。
点火したとき「ポッ」という音がする。	外気条件により起こることがあります。
はじめて運転するとき、油の焼けるような臭いがする。	部品加工用の油が焼けるためです。
運転中ヤカンで湯を沸かすような音がする。	温水が加熱される音です。
熱源機排気部より湯気が出る。	寒いときなど、排気中の水分が冷えて、湯気になります。
はじめて運転するとき、なかなか点火しない。	ガス管の中に空気が入っているためです。点火操作をくり返してください。
設置後はじめて運転したとき、1～2日で暖房水の補給が必要となった。	暖房配管中の空気が十分に抜けていないためです。点検し、水漏れがなければ補給し、そのままご使用ください。
運転中、運転ランプが点灯、消灯をくり返す。	熱源機が燃焼している場合は、点灯し、消火している場合は消灯します。

長期間使用しない場合

●夏場など長期間使用しない場合は、熱源機・室内機ともよくお手入れのうえ、ガス元栓を閉め電源プラグを抜いておいてください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●15ページの「故障・異常の見分け方と処理方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
●ご確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
①品　名……暖ライフ
②品　番……前板に貼付けてあります。

（例）

(N) 44-758 (U)
大阪ガス株式会社
744　758　07
(DS-104RFA)

③現　象……（できるだけ詳しく）
④道　順……（できるだけ詳しく）

転宅される場合

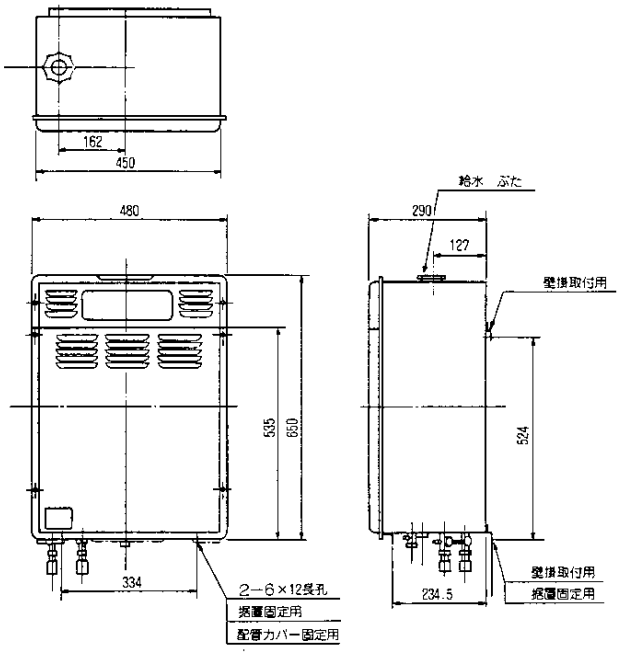
●ガスの種類が異なる地域へ転宅される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転宅先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは、大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

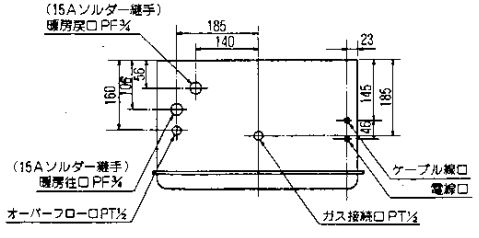
保証について

●**この熱源機には保証書がついています。**
この熱源機は保証書に記載のように、熱源機の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社、サービスステーションへご相談ください。
●**補修用性能部品について**
●補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

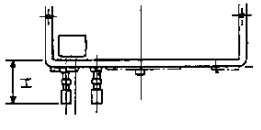
外形寸法と仕様一覧表 ①

外形寸法図（単位 mm）





H寸法(据付口端面・器具下端)			
ガス接続口	暖房往口	暖房戻口	オーバーフロー口
48	86.5	86.5	24



平面図(上カラ見ル)

外形寸法と仕様一覧表②

仕 様

品番		44-758
外形寸法	高さ	650mm
	幅	480mm
	奥行	290mm
重量		27kg(運転時 約30kg)
ガス消費量		6C. 6A. 13A 12,200Kcal/h LPG1.02kg/h
暖房出力		6C. 6A. 13A. LPG 10,000Kcal/h
暖房往き平均湯温		80℃
ポンプ機外取り揚程(内蔵)		5.0mH$_2$O(5ℓ/min)
最低作動水量		0ℓ/min
温度制御方式		比例制御
安全装置		消火安全装置(フレームロッド)
		内胴過熱防止装置
		器体過熱防止装置
		空だき安全装置(水位スイッチ)
		過電流防止装置
電源		AC100V 60Hz
消費電力		140W
配管接続	暖房往き戻り	PF3/4オネジ(15Aロウ付け用袋ナット継手)
	ガス	PT1/2オネジ
給排気方式		屋外設置強制給排気方式
別売部品		リモートコントローラ(49-719)(壁埋込用)
		据置台セット(49-195)壁掛金具(49-187)
		配管カバー(49-196)